

4月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：http://jppf.jp/

□ 合宿

パラパワーリフティングでは、強化指定選手を対象に月に2回、京都と東京で合宿を重ねています。今月の目標は、4月に開催されるチャレンジカップ京都大会に向けて、パワーアップ期からピーキングに入るあたりを皆で練習しました。普段は選手は地元で練習し、合宿では、連盟コーチに練習の進捗状況を報告し、競技会で、どれくらいの記録を狙いたいか、など、作戦を立てています。



順調にトレーニングを積み重ねている選手達の活躍が楽しみです。

写真上；座学は、アンチドーピング講座（同志社大学、北條先生）とスポーツ選手の痛止め薬使用とその注意（JPCドクター、徳永先生）。

写真左と下；若い選手に、トレーニングの「コツ」を共有するベテラン選手





写真左；合宿のトレーニング室には所狭しと、選手が集まり、各選手の練習を注視していました。連盟コーチにとっては、選手の力量を把握する絶好の機会です。この把握が、競技会での帯同コーチの大きな役割です。

写真上；Jスターという国家プロジェクトで発掘された京都在住の中川選手、家庭の様子、学校とトレーニングの兼ね合いなど、保護者とともにヒヤリング、これも重要な合宿の一コマ

□ ジョンエイモス氏、ドバイで功労賞受賞

長年、IPC パワーリフティング技術委員長として、パラ・パワーリフティングを支えてきたジョンエイモス氏が、この度、マレーシアのカバルザマン氏と委員長を交代しました。ドバイに招待されたジョン氏は、その功績に功労賞を受賞しました。日本としては、IPC 技術委員長をおりた事で、堂々と日本のヘッドコーチとして、ジョン氏に競技会に帯同してもらえることとなります。技術委員会には、吉田進理事長が、メンバーに入りました。



西岡浩記カメラマンが大きく報道されました。

競技会でいつも素晴らしい写真を取ってくださる西岡カメラマンが東京新聞に大きく報道されました。元々、ミュージシャンを専門に写真を撮っておられ、三浦浩選手に西岡さんを紹介されました。そうしたところ、カメラの中で見た選手は、全身で思いを表現しており、それは、ミュージシャンと同じだ、と、シャッターを押しておられるそうです。その西岡さんの思いが選手の思いと共鳴して、本当に素晴らしい写真となっています。昨年のアジア選手権で、IPCにもその腕を見込まれ、7月に開催される世界選手権ではIPCカメラマンとして参加されます。



様々な報道

16歳のパワーリフター

競技歴1年半、森崎可林選手の世界への挑戦

森崎可林選手

森崎可林選手は、16歳の若さで、世界大会への出場を目指して練習中。彼女は、日々のトレーニングと食事管理に励み、自己ベストを更新し続けています。

田中選手

田中選手は、パラリンピック出場を目指して日々努力を怠りません。彼女は、チームメイトとの協力と指導者のサポートを大切にしています。

社会をひとつにつなぐ、スポーツの力

パラ・パワーリフティングを通じて、インクルーシブな社会を築こう

二八選手

二八選手は、パラリンピック出場を目指して日々努力を怠りません。彼女は、チームメイトとの協力と指導者のサポートを大切にしています。

中日新聞 2019年3月10日 朝刊

パラ・パワーリフティング 日本代表選手 吉田 浩さん(68)

吉田浩さんは、パラリンピック出場を目指して日々努力を怠りません。彼は、チームメイトとの協力と指導者のサポートを大切にしています。

□ 兵庫県 ベンチ大会

兵庫県ベンチ大会が、3月17日パワーフラッシュアリーナで開催されました。IPC部門から3名が参加させていただきました。兵庫県パワーリフティング連盟の皆様には大変御世話になりました。ありがとうございました。



大会結果

男子 65 k g 級

城隆志 120 k g

男子 72 k g 級

大塚博幸 113 k g

男子 107+ k g 級

松崎泰治 148 k g

(JPPF 日本ジュニア新記録
樹立)

